

## 漢字のうた【師範代養成コース 四段】（暗唱）

1

春は、あけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは 少し明り  
て、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

夏は、夜。月の頃はさらなり。闇もなほ、螢の多く飛び違  
ひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行く  
もをかし。雨など降るもをかし。

2

秋は、夕暮れ。夕日のさして、山の端いと近うなりたるに、  
鳥の寝どころく行くどて、三つ四つ、二つ三つなど、飛び  
急ぐさへあはれなり。まいて雁などの列ねたるが、いと小さ  
く見ゆるは いとをかし。日入り果てて、風の音、虫の音な  
ど、はた いふべきにあらず。

3

冬は、つとめて。雪の降りたるは いふべきにもあらず。  
霜のいと白きも、またさらでも、いと寒きに、火など急ぎ熾  
して、炭もて渡るも、いとつきつきし。昼になりて、ぬるく  
ゆるびもていけば、火桶の火も、白き灰がちになりてわろし。